

横須賀市児童生徒読書活動調査（報告書）

令和7年（2025年）3月

横須賀市教育委員会

目 次

I	調査の概要	P 1
II	調査結果の概要	P 2
1	児童生徒の読書活動の状況	P 2
2	学校における読書活動推進の取り組みの状況	P13
3	家庭における読書活動の状況	P18
調査票		
	小・中学校児童生徒用 読書活動の状況 調査票	P20
	高等学校生徒用 読書活動の状況 調査票	P24
	小・中学校用 読書活動推進の取り組みの状況 調査票	P28
	高等学校用 読書活動推進の取り組みの状況 調査票	P32
	保護者用 読書活動の取り組みの状況 調査票	P35

I 調査の概要

1 調査の目的

本市児童生徒の読書活動と小・中学校における読書活動推進の取り組みの状況を把握し、第4次横須賀市子ども読書活動推進計画（令和4年度～令和7年度）掲載事業の効果検証と図書館や学校での今後の取り組みの参考とするため

2 調査の概要

(1) 児童生徒の読書活動の状況

①調査内容

児童生徒の読書冊数や、読書についての意識、学校図書館の利用状況など

②調査対象

市立小学校4～6年生、中学校、横須賀総合高等学校の各学年・年次の抽出1クラスの児童生徒

区分	回答者数	(参考) 児童生徒数 令和6年5月1日現在
小学校 (46校)	3,194人	(4～6年生) 8,192人
中学校 (23校)	2,077人	8,467人
高等学校 (全日制・定時制)	157人	1,119人
合計	5,428人	17,778人

(2) 学校における読書活動推進の取り組み状況

①調査内容

読書推進の活動状況、ボランティアの活用状況、学校図書館の開館状況など

②調査対象

市立小学校・中学校・横須賀総合高等学校

(3) 家庭における読書活動の状況

①調査内容

読み聞かせの状況、読書習慣を付けるための取り組みなど

②調査対象

市立小学校（抽出9校）1年生の抽出1クラスの保護者

配布数	回答数	回収率
296	224	75.7 %

3 調査の実施時期

令和6年12月（調査対象基準は令和6年11月の1か月間）

Ⅱ 調査結果の概要

1 児童生徒の読書活動の状況

- ・全国の数値 出典：「第 69 回学校読書調査報告（全国学校図書館協議会）」
調査基準は令和 6 年 5 月の 1 か月間

(1) 11月 1 か月間の読書冊数

前年度と比べて、小学生は0.7冊減少、中学生は0.2冊減少、高校生は2.4冊の増加となった。全国平均との比較では、小学生は平均を下回り、中学生、高校生は平均を上回る結果となっている。電子書籍の読書冊数は全校種で微増となり、全国平均を上回っている。

不読率（1 か月間に本を1冊も読まない児童生徒の割合）は、小学生で4ポイント上昇し、全国平均よりも6.1ポイント上回っている。中学生の不読率に大きな変化はないが、全国の数値が大きく上昇したこともあり、本計画期間で初めて全国平均より低い結果となった。

【1 か月間に読んだ本の冊数 全国との比較】

() はうち電子書籍の冊数

小学生

(冊)

区分 (令和)	横須賀市			全国		
	本	雑誌	マンガ	本	雑誌	マンガ
6年度	10.6 (2.2)	3.8 (1.1)	8.8 (2.4)	13.8 (1.5)	2.8 (0.4)	-
5年度	11.3 (1.9)	4.2 (1.2)	9.4 (1.9)	12.6 (1.0)	3.4 (0.4)	-
4年度	10.8 (2.8)	4.4 (1.4)	9.7 (3.2)	13.2 (1.0)	3.3 (0.4)	-
3年度	11.9 (4.1)	2.2 (0.9)	19.4 (10.0)	12.7 (-)	3.6 (-)	-

中学生 (冊)

区分 (令和)	横須賀市			全国		
	本	雑誌	マンガ	本	雑誌	マンガ
6年度	7.2 (2.9)	2.4 (1.0)	9.2 (4.4)	4.1 (0.7)	2.5 (0.6)	-
5年度	7.4 (2.7)	2.7 (1.1)	10.4 (4.1)	5.5 (0.9)	3.0 (0.7)	-
4年度	7.8 (3.4)	3.0 (1.1)	9.6 (4.7)	4.7 (0.7)	3.1 (0.7)	-
3年度	5.4 (2.9)	2.2 (1.2)	19.0 (11.5)	5.3 (-)	2.0 (-)	-

高校生 (冊)

区分 (令和)	横須賀市			全国		
	本	雑誌	マンガ	本	雑誌	マンガ
6年度	4.2 (2.9)	0.8 (0.4)	14.3 (9.0)	1.7 (0.4)	1.2 (0.3)	-
5年度	1.8 (0.9)	1.0 (0.6)	8.3 (5.1)	1.9 (0.4)	1.5 (0.6)	-
2年度	1.2 (-)	0.5 (-)	4.7 (-)	1.4 (-)	0.9 (-)	-

※高校生を対象とした令和5年度より前の調査は令和2年度（以下の表も同様）

【1か月間に読んだ紙の本の冊数別の割合】

(%)

区分	(令和)	平均冊数	0冊	1～4冊	5冊以上
小学生	6年度	8.3冊	18.2	34.9	46.9
	5年度	9.4冊	11.9	36.4	51.8
	4年度	8.0冊	11.5	32.4	56.1
	3年度	7.8冊	12.7	39.9	47.4
中学生	6年度	4.3冊	27.5	47.4	25.1
	5年度	4.7冊	26.6	47.9	25.4
	4年度	4.4冊	27.9	43.2	28.9
	3年度	2.5冊	37.1	49.7	13.2
高校生	6年度	1.3冊	62.3	32.2	5.5
	5年度	0.9冊	63.1	31.2	5.7
	2年度	1.2冊	59.6	35.4	5.0

【1か月間に読んだ電子書籍の冊数別の割合】

(%)

区分	(令和)	平均冊数	0冊	1～4冊	5冊以上
小学生	6年度	2.2冊	67.4	21.4	11.1
	5年度	1.9冊	74.6	14.9	10.5
	4年度	2.8冊	62.5	18.5	19.1
	3年度	1.3冊	82.4	9.7	7.0
中学生	6年度	2.9冊	67.7	17.2	15.1
	5年度	2.7冊	69.9	16.4	13.7
	4年度	3.4冊	60.9	16.9	22.2
	3年度	1.4冊	83.3	10.3	5.6
高校生	6年度	2.9冊	84.6	11.2	4.2
	5年度	0.9冊	83.0	12.4	4.6

【1か月間に読んだ紙の本と電子書籍ともに0冊の児童生徒の割合】

(%)

区分	(令和)	横須賀市	全国
小学生	6年度	14.6	8.5
	5年度	10.6	7.0
	4年度	9.4	6.4
	3年度	12.7	5.5
中学生	6年度	22.2	23.4
	5年度	22.3	13.1
	4年度	21.4	18.6
	3年度	37.1	10.1
高校生	6年度	46.5	48.3
	5年度	55.8	43.5
	2年度	59.6	55.3

※令和3年度以前は電子書籍に関する設問なし

(2) 電子書籍の利用状況

利用する(①+②)の割合は校種が上がるにつれて高くなっている。前年度と比べて、中学生、高校生に大きな変化は見られない。小学生の利用は増加したが(①+②が増加、④が減少)、令和3・4年度の水準を下回る。

また、全校種とも、利用したことがある児童生徒の割合(①+②+③)は全国平均を大きく上回っている。

(%)

区分(令和)		① よく利用する	② ときどき利用する	③ あまり利用しない	④ 利用したことがない	無効回答
小学生	6年度	11.1	16.4	26.7	45.8	0.0
	5年度	9.8	13.7	24.1	52.3	0.0
	4年度	14.4	17.6	22.0	45.9	0.0
	3年度	16.1	14.4	21.0	47.4	1.1
中学生	6年度	21.1	20.5	27.3	31.1	0.0
	5年度	20.7	21.8	26.5	31.0	0.0
	4年度	27.7	22.1	23.3	26.9	0.0
	3年度	29.1	20.4	22.6	26.8	1.1
高校生	6年度	30.6	29.3	19.7	16.6	3.8
	5年度	32.1	27.3	20.6	18.8	1.2

《参考》全国の調査結果

【問】電子書籍を読んだことがあるか

(%)

区分	性別	①ある	②ないが読みたい	③ないし読みたくない	読んだことがない ②+③	不明・無回答
小学生	男子	35.1	28.6	36.0	64.6	0.3
	女子	42.0	36.2	21.6	57.8	0.2
中学生	男子	45.1	22.0	32.8	54.8	0.1
	女子	55.0	23.9	20.9	44.8	0.1
高校生	男子	58.1	16.5	25.1	41.6	0.3
	女子	65.1	16.5	18.2	34.7	0.2

(3) 紙の本と電子書籍のどちらを読みたいか

全校種ともに、電子書籍より紙の本を希望する割合が高いが、中学生・高校生は約半数が、小学生でも約4割が「電子書籍を読みたい」、「両方読みたい」と回答している。また、小学生と高校生で「両方読みたくない」との回答に増加傾向がみられる。

(%)

区分 (令和)		紙の本	電子書籍	両方読みたい	両方読みたくない	無効回答
小学生	6年度	48.2	14.8	25.7	11.1	0.0
	5年度	52.3	12.2	26.3	9.1	0.0
	4年度	45.1	14.9	33.5	6.5	0.0
中学生	6年度	41.1	20.3	28.7	9.9	0.1
	5年度	40.9	20.3	28.4	10.3	0.1
	4年度	35.9	24.1	31.2	8.7	0.0
高校生	6年度	40.8	20.4	26.8	7.6	4.5
	5年度	46.7	17.6	31.5	2.4	1.8

※令和3年度以前は当該設問なし

(4) 自分で興味を持って選んだ本の有無

回答対象は1冊以上読んだ児童生徒。主体的に読書に取り組んでいるかを測る設問。全体的な傾向として中学生には大きな変化は見られないが、小学生では「ある」の回答率がこれまでと比べて5ポイント以上減少している。高校生は小・中学生に比べて「ある」の割合が高い。

(%)

区分 (令和)		ある	ない	無効回答
小学生	6年度	72.2	21.5	6.3
	5年度	77.7	22.2	0.1
	4年度	77.9	18.8	3.3
中学生	6年度	75.9	20.4	3.7
	5年度	77.1	22.4	0.5
	4年度	77.6	22.4	0.0
高校生	6年度	94.0	6.0	0.0
	5年度	84.1	5.8	10.1

※令和3年度以前は当該設問なし

(5) 読みたい本のジャンル

全校種とも「物語・小説等」、次いで「スポーツや芸術」の割合が高くなっている。また、小学生では「自然科学」、中学生では「こころや人生について考える本」の割合が他の校種に比べて高いという特徴がみられる。

(%)

ジャンル	小学生	中学生	高校生
物語、小説、詩、エッセーなど	44.8	56.0	52.2
スポーツや音楽・美術など芸術	17.9	14.2	12.1
自然科学（算数・宇宙・動物・虫・植物）	11.0	6.5	3.8
日本や外国の歴史・地理	6.9	5.1	3.2
技術（もの作り・料理・手芸）や機械・乗物	6.4	3.8	5.7
こころや人生について考える本	3.6	7.8	3.2
調べるための本（図鑑・地域の資料など）	2.6	2.6	2.5
言葉（日本語や外国語・方言）	4.0	3.6	3.2
いろいろな仕事（農業・漁業・商業）	1.3	1.5	0.0
社会のしくみや民族の文化（行事・民話）	1.6	1.7	2.5
無効回答	0.0	0.0	11.5

(6) もっと本を読むための効果的な工夫

全校種とも「学校で定期的に読書をする時間をつくる」「学校図書館に読みたいと思う本を増やす」で約半数を占めている。今年度から導入した電子書籍についても一定の期待がある。また、高校生では自由時間が増えることを選択する割合が小・中学生に比べて高い。

(%)

効果的な工夫	小学生	中学生	高校生
学校で定期的に読書をする時間をつくる	37.4	34.3	35.7
学校図書館に読みたいと思う本を増やす	19.5	17.1	13.4
1人1台端末で電子書籍を利用できる	8.3	17.0	10.2
学校図書館を昼休みや放課後にいつも開ける	9.5	7.7	3.2
大人や友達が『おすすめの本』を教えてくれる	10.0	7.3	7.0
放課後や休日に自由時間が増える	5.9	8.6	14.0
1人1台端末で市立図書館の本が予約できる	2.0	2.0	2.5
市立図書館・図書室に読みたいと思う本を増やす	2.8	2.7	2.5
市立図書館で電子書籍を借りることができる	1.1	1.1	2.5
無効回答	0	0	7.6
その他	3.5	2.1	1.3

「その他」（自由記載）の抜粋

小学生・中学生

- ・アンケートで読みたい本を聞いて、それを学校図書館に置く
- ・イベントの実施（読み聞かせ、おすすめ本の紹介など）
- ・マンガを多く置く
- ・授業で学校図書館に行き、借りる時間をつくる

小学生

- ・廊下など皆が目にする場所に、本のコーナーをつくる
- ・一人一台端末を使って、本の紹介をする
- ・学校図書館の貸出冊数の上限を増やす

中学生

- ・学校図書館の本を機械を使って借りやすくする
- ・学校図書館に余裕を持って行くことのできる時間をつくる

高校生

- ・土日に学校図書館を利用できるようにする

(7) 読書の好ききらい

「好き」「どちらかといえば好き」の合計は、小学生、高校生で減少傾向がみられる。高校生は、小・中学生に比べ、「きらい」の割合が低い。

(%)

区分 (令和)	好き	どちらかとい えば好き	どちらかと いえばきらい	きらい	無効 回答	
小学生	6年度	36.2	38.1	18.2	7.5	0.0
	5年度	40.0	38.8	15.5	5.7	0.1
	4年度	39.9	39.9	14.1	6.0	0.0
	3年度	40.9	38.0	15.3	5.3	0.4
中学生	6年度	35.8	38.1	18.7	7.4	0.0
	5年度	36.3	37.9	17.7	8.1	0.1
	4年度	33.5	40.0	18.1	8.3	0.0
	3年度	32.3	37.9	20.2	9.5	0.1
高校生	6年度	35.7	41.4	13.4	3.8	5.7
	5年度	40.6	43.0	12.1	2.4	1.8
	2年度	40.5	37.6	12.9	9.0	0.0

(8) 幼少期に経験した読み聞かせの状況

「よく読んでもらった」が最も高い。続く「ときどき読んでもらった」と合わせると、日常的に本を読んでもらっていた児童生徒は約7～8割を占める。

(%)

状況	小学校	中学校	高校
よく読んでもらった	48.2	49.4	44.6
ときどき読んでもらった	30.1	34.2	28.7
あまり読んでもらわなかった	6.2	6.3	6.4
読んでもらったことはない	2.0	1.4	1.3
覚えていない	13.5	8.6	13.4
無回答	0	0	5.7

(9) 授業以外での学校図書館の利用状況

小・中学生とも「よく利用する」、「ときどき利用する」の合計は前年度と比べて微減。また、「利用したことがない」と回答した小学生の割合は増加傾向にある。

(%)

区分 (令和)		よく利用する	ときどき利用する	あまり利用しない	利用したことがない	無効回答
小学生	6年度	12.0	31.3	49.1	7.6	0.0
	5年度	12.6	32.6	47.7	7.1	0.1
	4年度	13.5	31.1	49.0	6.5	0.0
	3年度	17.2	35.0	37.5	9.4	0.9
中学生	6年度	6.3	17.5	46.8	29.5	0.0
	5年度	7.1	18.1	47.7	27.0	0.1
	4年度	6.3	17.3	45.7	30.7	0.0
	3年度	5.5	16.0	37.7	39.7	1.1

(10) 学校図書館を利用しない理由

回答対象は学校図書館を「あまり利用しない」、「利用したことがない」と回答した児童生徒。小学生、中学生ともに「利用したいが他の用事を優先」や「本に興味がない」、「本は買うなど手元にある」が多い。

(%)

区分	利用したいが他を優先	本に興味がない	本は買うなど手元にある	利用したいが図書館が閉まっている、遠い	その他	無効回答
小学生	37.0	30.9	13.7	5.9	10.7	1.8
中学生	25.1	35.9	21.9	10.4	5.4	1.3

「その他」の主な内容

小学生

- ・本を期限までに返せない
- ・何を読んだらいいかわからない

中学生

- ・接点がなさすぎる、気軽感がない
- ・電子書籍のほうが良い
- ・図書館がいつ開いているのかわからない、昼休みが短く時間がない

小学生・中学生

- ・読みたい本がない（興味がある本が少ない、マンガがない）
- ・（借りに行くこと、返しに行くことが）面倒くさい

(11) 市立図書館の利用状況（高校生への質問）

「ほとんど利用しない」と「行ったことがない」が8割に上る。

(%)

利用状況	割合
よく利用する	3.2
たまに利用する（数か月に1回程度）	11.5
ほとんど利用しない（年に1回行くかどうか）	48.4
行ったことがない	32.5
無回答	4.5

(12) 市立図書館を利用しない理由（高校生への質問）

回答対象は市立図書館を「ほとんど利用しない」「行ったことがない」と回答した生徒。「本は買う、借りるなど手元にある」が最も多い。

(複数回答可) (%)

理由	割合
利用したいが、他にもやりたいことや用事があるから	22.8
学校図書館や、電子書籍で用が足りるから	18.9
本は買う、借りるなど、読む本が手元にあるから	43.3
本に興味がないから	25.2
その他	11.0
無回答	1.6

「その他」の主な内容

- ・行くのがめんどくさい
- ・市立図書館がどこにあるのか分からない

(13) 横須賀市や横須賀市立図書館の情報の閲覧状況（高校生への質問）

市や図書館の情報媒体について、「見たことがない」が7割を超える。どの媒体も見たことのある生徒は1割以下であり、高校生へ情報を伝えることの難しさが見受けられる。

(複数回答可) (%)

情報媒体	割合
横須賀市立図書館ホームページ	8.9
横須賀市ホームページ	7.6
広報よこすか	8.3
横須賀市LINE	3.2
横須賀市X	3.2
横須賀市立図書館X	0.0
見たことがない	70.1
無回答	7.0

(14) 第4次横須賀市子ども読書活動推進計画の目標値との比較

指 標		目標 令和7年度	令和 6年度	令和 5年度	令和 4年度
1 か月間の 平均読書冊数	小学生	9.6 冊	10.6 冊	11.3 冊	10.8 冊
	中学生	4.7 冊	7.2 冊	7.4 冊	7.8 冊
自分で興味を持って 選んだ本を1か月に1回 以上読んだ子どもの割合	小学生	100%	72.2%	77.7%	77.9%
	中学生	100%	75.9%	77.1%	77.6%
本を読むことが好きな子 どもの割合	小学生	88.2%	74.3%	78.8%	79.8%
	中学生	80.9%	73.9%	74.2%	73.5%
	高校生	88.1%	77.1%	83.6%	—

(15) 調査結果の分析

読書冊数は、小・中学生とも僅かに減少しているが、計画初年度の令和4年度から引き続き、目標値を上回っている。特に中学生では令和4年度に読書冊数が増加し（令和3年度は5.4冊）、子ども読書活動推進事業の一定の効果と考えられる。

不読率について前計画期間からの推移をみると、小学生は増加傾向にあり、今回の調査では全国平均を6.1ポイント上回る状況。中学生は令和4年度に大きく減少してから、ほぼ同じ割合で推移し、今回の調査では僅かに全国平均を下回る結果となった。読書冊数も全国平均を上回っていることから、相対的にみて、本市中学生の読書環境は充実が図られてきていると考えられる。このように小学生と中学生で調査結果に違いが生まれる原因についても調査が必要と考える。

また、電子書籍の利用は全校種とも全国平均より高く、読書冊数も僅かに増えている。読書活動を推進する工夫として、「学校での読書時間の確保」や「蔵書の充実」、「1人1台端末で電子書籍が読める環境整備」などがあげられていることから、今年度導入した電子図書館の学校活用をはじめ、学校と図書館との一層の連携を図っていくことが必要である。

2 学校における読書活動推進の取り組みの状況

調査対象 小学校 46 校、中学校 23 校、総合高校

(1) 今年度実施した読書の推進に関する活動 (複数回答可)

回答	小学校	中学校	高校
朝読書	39 校	14 校	0 校
読み聞かせ (おはなし会)	37 校	2 校	0 校
図書委員会の児童生徒による取り組み	44 校	21 校	1 校
読書週間における読書イベント	38 校	13 校	0 校
読書感想画の取り組み	45 校	8 校	0 校
読書感想文の取り組み	35 校	19 校	0 校

(2) 今年度の読書活動へのボランティアの活用状況

回答	小学校	中学校	高校
活用している	34 校	8 校	-
活用していない	12 校	15 校	1 校

※「ボランティア」は名称に係わらず、教職員や学校司書以外の学校の読書活動に関わるすべての方を対象としている。

(3) ボランティアが実施する具体的な取り組み

「ボランティアを活用している」と回答した学校への設問 (複数回答可)

回答	小学校 (34 校)	中学校 (8 校)
読み聞かせ (おはなし会)	28 校	0 校
学校図書館の蔵書の受入・廃棄等	20 校	7 校
学校図書館の環境整備 (掃除・飾付等)	25 校	5 校
学校図書館の図書の貸出・返却	3 校	0 校
その他	3 校	0 校

「その他」の主な内容

- ・入荷本のカバーかけ
- ・学級文庫の環境整備 (掃除、図書の点検 (廃棄・修理))

(4) ボランティアを活用していない理由

「ボランティアを活用していない」と回答した学校への設問 (複数回答可)

回答	小学校 (12校)	中学校 (15校)	高校
活用したいが人の確保が難しい	2校	1校	0校
活用したいがどのような活動を行っても らえばよいかわからない	3校	2校	0校
必要性を感じない	5校	10校	1校
その他	6校	3校	0校

「その他」の主な内容

- ・コロナ禍をきっかけに廃止。現体制で活動が成り立っているため
- ・打ち合わせの時間や業務の線引きが難しいため
- ・活用を始めるための検討をする余裕がないため
- ・教職員、学校司書で仕事ができているため

(5) 市立図書館から配布されるブックリストの活用状況

回答	小学校	中学校
配布のみ	23校	9校
ブックリストを活用した読書を勧めている	4校	2校
学校図書館の選書に活用している	19校	12校

(6) 学校特別貸出の利用

回答	小学校	中学校
利用している	27校	10校
利用していない	19校	13校

(7) 学校特別貸出を利用していない理由

「利用していない」と回答した学校への設問 (複数回答可)

回答	小学校	中学校
手続きが繁雑、または分からない	7校	2校
学校の図書館・図書室にある本で用が足りる から	13校	7校
授業に必要ではないから	1校	7校
その他	1校	1校

(8) 今年度の学校図書館の開館状況

回答	小学校	中学校	高校
特別な事がなければ、毎日開館している	44校	18校	1校
週に数回開館している	2校	5校	-

(9) 1日のうち、学校図書館が開館している時間

回答		小学校	中学校	高校
常時開けている		33校	0校	1校
一定時間 開けている	昼休み・中休み・放課後	1校	0校	-
	昼休み・中休み	10校	1校	-
	昼休み・放課後	0校	1校	-
	昼休みのみ	1校	19校	-
	中休みのみ	1校	0校	-
	放課後のみ	0校	0校	-
	その他	0校	2校	-

「その他」の内容

- ・火曜日以外の全ての昼休みと木曜日の放課後
- ・学校司書の勤務日は常時開けている。それ以外は昼休みのみ

(10) 学校図書館の図書の貸し出しへの対応

(複数回答可)

回答	小学校	中学校	高校
教職員	40校	15校	0校
学校司書	44校	17校	1校
児童生徒(図書委員など)	46校	23校	0校
学校図書館ボランティア	1校	0校	0校

(11) 学校図書館の利用指導(年1回以上のオリエンテーション)の実施状況

回答	小学校	中学校	高校
全学年で実施	45校	19校	-
一部の学年で実施	1校	4校	1校

(12) よこすか電子図書館の利用状況

回答	小学校	中学校	高校
利用した	23校	4校	-
利用しなかった	23校	19校	1校

(13) よこすか電子図書館を利用した場面 (複数回答可)

回答	小学校	中学校
朝読書で利用した	13校	2校
調べ学習で利用した	13校	1校
各教科で利用した	6校	3校
その他	6校	0校

「その他」の主な内容

- ・電子図書館のオリエンテーションを実施
- ・試験的な利用

(14) よこすか電子図書館を利用しなかった理由 (複数回答可)

回答	小学校 (23校)	中学校 (19校)
紙の本を利用するので、電子図書館は利用しない	5校	6校
利用する時間がない	8校	5校
電子図書館の使い方がよく分からない	5校	1校
利用したい電子書籍が少ない	2校	3校
その他	11校	8校

「その他」の主な内容

- ・使用方法などのレクチャーが校内で済んでいないため
- ・今年度は試行期間として、教職員のみが利用することになったため
- ・初回ログインの仕方が低学年には難しく、実施方法を検討中のため
- ・クロームブックの使用ルールを改定中であり、電子図書館を使うタイミングも協議中
- ・導入してからまだ日が浅く認知度が低い
- ・年明けから使用予定

(15) よこすか電子図書館に希望すること (複数回答可)

回答	小学校 (46 校)	中学校 (23 校)
電子図書館の使い方講習の実施	19 校	10 校
児童書読み放題パックの充実	37 校	12 校
単品 (児童書) の電子書籍の充実	26 校	12 校
購入して欲しい電子書籍のリクエストの実施	12 校	11 校
その他	6 校	4 校

「その他」の主な内容

- ・小学生が読める本が少ないと感じる。今後充実することを期待
- ・昔話や絵本など低学年が楽しめる本の充実
- ・調べ学習で使える資料の充実
- ・図書館職員によるオリエンテーションを学校で開催してほしい
- ・簡単なログイン方法の検討

(16) 読書・調べ学習における電子書籍の活用状況 (高校への質問)

回答	高校
青空文庫など無料の電子書籍サービスを活用している	-
活用したいが、適切なコンテンツがなく活用できていない	-
活用したいが、読書や調べ学習を行う時間的余裕がない	-
紙の本を活用するため、電子書籍を活用していない	1 校
その他	-

(17) 調査結果の分析

中学校では、学校司書の全校配置が令和4年度から始まり、今年度で3年目を迎えた。これにより、学校図書館の利用指導を全学年で実施する学校が増加した (R4年度 11校→R5年度 15校→R6年度 19校)。授業以外での読書活動 (「読書感想画」: R5年度 9校→R6年度 8校、「読書感想文」: R5年度 21校→R6年度 19校、「朝読書」: R5年度 15校→R6年度 14校) は微減といった状況だが、継続的に取り組める環境ができつつある。

また、電子書籍については、利活用の検討に意欲的な学校と、年度途中のスタートだったことから、設定方法等の周知が進まずに利用を控えた学校があった。調べ学習で使用できる本の充実を求める声など、活用のニーズは確実にあるため、より充実した学習環境に向けて取り組みを進めていく必要がある。

3 家庭における読書活動の状況

調査対象 市立小学校（抽出9校）1年生の抽出1クラスの保護者
 回答者数 224人

※前回調査は令和2年度

(1) 家庭での読み聞かせ状況

状況	令和6年度	令和2年度
よく読み聞かせをした	16.1%	16.9%
たまに読み聞かせをした	66.5%	63.8%
読み聞かせをしなかった	16.5%	18.8%
わからない	0.9%	0.5%

(2) 読書習慣をつけるための活動

(複数回答可)

回答	令和6年度	令和2年度
図書館・図書室と一緒にいく	38.8%	22.7%
一緒に書店に行き、本を買い与える	48.2%	47.3%
図書館などのおはなし会に参加する	2.7%	1.9%
子どもが本を読んだらほめる	47.3%	40.1%
自分（保護者）が読書している姿を見せる	21.0%	18.8%
本のことについて話をする	25.4%	21.7%
手に取りそうな本を家に置いている	54.0%	52.2%
その他	5.4%	15.9%

「その他」の主な内容

- ・夜、眠る前に読み聞かせを行う
- ・寝る前に5～10分間ほど、読書の時間をとっている
- ・教科書の音読
- ・読書習慣をつけてもらおうと考えたことがない

(3) 市立図書館事業の認知状況

(複数回答可)

事業	令和6年度
ブックスタート事業（絵本のプレゼント等）	17.9%
ブックリスト（学校を通じて配付）	25.0%
おはなし会	69.2%
こどもえいが会	41.1%
よこすか電子図書館	27.2%

(4) 調査結果の分析

前回（令和2年度）の調査結果と比較すると、「読み聞かせをしなかった」の割合が2.3ポイント低下しており、読み聞かせをしている家庭が僅かに増えている。

また、読書習慣を付けるための活動では、前回に引き続き、「手に取りそうな本を家に置いている」が過半数を超えて最も多く、次いで「一緒に書店に行き、本を買い与える」が半数に近い状況である。特徴的なのは「図書館・図書室と一緒にいく」が前回に比べて大幅に上昇（16.1ポイント）していることが挙げられる。また、「子どもが本を読んだらほめる」が7.2ポイント上昇するなど、本を読むことの価値を意識させるような働きかけがみられ、保護者の意識も変化してきているように感じられる。このように家庭で育まれた「読書に親しむ環境」を、小学校入学後の生活に繋げていくことが一つの課題と考えている。

令和6年度 小・中学校児童生徒用 読書活動の状況 調査票

この調査（ちょうさ）は、読書（どくしょ）についてのアンケート調査です。
アンケート結果は、市内の学校すべての合計を公表します。

【問1】 あなたの学校を選んでください。

回答 _____ 小学校・中学校

【問2】 あなたの学年を○で囲んでください。

回答 小学生： 4年生 中学生： 1年生
 5年生 2年生
 6年生 3年生

『紙の本』について質問します。

スマホやタブレット、パソコンで読む『電子書籍（でんししょせき）』は入れないでください。

【問3】 あなたは11月の1か月間に、紙の「本・雑誌（ざっし）・マンガ」を何冊（なんさつ）読みましたか。ア、イ、ウのそれぞれについて、読んだ本の冊数を（ ）に記入してください。

回答 【ア】 紙の本 （ ）冊

【イ】 紙の雑誌 （ ）冊
（マンガの週刊誌・月刊誌なども入ります。）

【ウ】 紙のマンガ（ ）冊
（雑誌は入りません）

スマホやタブレット、パソコンで読む本『電子書籍』（本・雑誌・マンガすべて）について質問します。

【問4】 あなたは、『電子書籍』を利用することがありますか。

あてはまる回答を1つ選び、その数字を○で囲んでください。

回答 1 よく利用する
2 ときどき利用する
3 あまり利用しない
4 利用したことがない

【問5】 あなたは11月の1か月間に、『電子書籍』を何冊読みましたか。
ア、イ、ウのそれぞれについて読んだ本の冊数を（ ）に記入してください。

回答 【ア】『電子書籍』の本 （ ）冊

【イ】『電子書籍』の雑誌 （ ）冊
（マンガの週刊誌・月刊誌なども入ります。）

【ウ】『電子書籍』のマンガ （ ）冊
（雑誌は入りません）

『紙の本』・『電子書籍』の両方の本（雑誌やマンガは入りません）について質問します。

【問6】 11月の1か月の間に、1冊以上読んだ人にたずねます。
あなたが11月の1か月の間に読んだ本の中に、『読んでみたいな』と感じて自分でえらんだ本は1冊以上入っていましたか。
あてはまる回答を1つ選び、その数字を○で囲んでください。（人からすすめられた本でも、『読んでみたい』と感じていれば自分でえらんだ本になります。）

回答 1 自分で選んだ本が1冊以上入っていた
2 入っていない

【問7】 あなたは『紙の本』と『電子書籍』のどちらを読みたいと思いますか。
あてはまる回答を1つ選び、その数字を○で囲んでください。

回答 1 紙の本
2 電子書籍
3 どちらも読みたい
4 どちらも読みたくない

【問 8】 これから市立図書館や学校図書館で、どんな本を読みたいと思いますか。最もあてはまる回答を1つだけ選び、その数字を○で囲んでください。

- 回答
- 01 物語、小説、詩、エッセイなど（絵本もここに入ります）
 - 02 言葉（日本語や外国語・方言）の本
 - 03 スポーツの本や音楽・図工・美術・写真など芸術（げいじゅつ）の本
 - 04 いろいろな仕事（農業・漁業・商業）の本
 - 05 技術（もの作り・料理・手芸）や機械・乗り物の本や図鑑など
 - 06 自然科学（算数・宇宙・動物・虫・植物）の本や図鑑など
 - 07 社会のしくみ（政治や経済（けいざい）・国際理解（こくさいりかい））や民族の文化（行事・民話）の本
 - 08 日本や外国の歴史・地理の本
 - 09 ところや人生について考える本
 - 10 調べるための本（百科事典・図鑑・横須賀など地域の資料）

【問 9】 みんなが今よりもっと本を読むためのくふうとして、一番効果（こうか）があると思うのは、つぎのうちのどれですか。1つだけ選んで○で囲んでください。その他の場合は、その内容を書いてください。

- 回答
- 1 学校で定期的（ていきてき）に読書をする時間をつくる
 - 2 学校図書館を昼休みや放課後（ほうかご）にいつも開ける
 - 3 学校図書館に読みたいと思う本をふやす
 - 4 市立図書館・コミュニティセンターの図書室に、読みたいと思う本をふやす
 - 5 学校の1人1台端末で市立図書館の本を予約できる
 - 6 大人や友達が『おすすめの本』を教えてくれる
 - 7 放課後や休日に自由時間が増える
 - 8 学校の1人1台端末で『電子書籍』が利用できる
 - 9 市立図書館で『電子書籍』を借りることができる
 - 10 その他: ()

【問 10】 あなたは、授業（じゅぎょう）ではない時間（昼休みなど）に、学校図書館を利用しますか。1つだけ選んで○で囲んでください。

- 回答
- 1 よく利用する
 - 2 ときどき利用する
 - 3 あまり利用しない
 - 4 利用したことがない

【問 11】 【問 10】で『あまり利用しない』、『利用したことがない』と答えた人に質問します。学校図書館を利用しない理由は何ですか。1つだけ選んで○で囲んでください。その他は、理由を書いてください。

回答

- 1 利用したいが、他にもやりたいことや用事があるから
- 2 利用したいが、図書館がしまっていたり、教室から遠い所にあたりするから
- 3 本は買う、借りるなどして読む本が手元にあるから
- 4 本に興味（きょうみ）がないから
- 5 その他（ ）

【問 12】 市立図書館や学校図書館で、こういったイベントがあれば参加してみたいですか。また、どんなことをしてみたいですか。

回答 （ ）

【問 13】 あなたは小さい頃、絵本などを読んでもらったことがありましたか。1つだけ選んで○で囲んでください。

回答

- 1 よく読んでもらった
- 2 ときどき読んでもらった
- 3 あまり読んでもらわなかった
- 4 読んでもらったことはない
- 5 覚えていない

【問 14】 これが、最後の質問です。あなたは本を読むことが好きですか。あてはまる回答を1つ選び、その数字を○で囲んでください。

回答

- 1 好き
- 2 どちらかといえば好き
- 3 どちらかといえばきらい
- 4 きらい

質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

令和6年度 高校生用 読書活動の状況 調査票

この調査は、読書についてのアンケート調査です。
アンケート結果は、学校全体の合計や平均値を公表します。

【問1】 あなたの年次を○で囲んでください。

回答	1年生	3年生
	2年生	4年生(定時制)

『紙の本』について質問します。

スマホやタブレット、パソコンで読む『電子書籍』は入れないでください。

【問2】 あなたは11月の1か月間に、紙の「本・雑誌・マンガ」を何冊読みましたか。ア、イ、ウのそれぞれについて、読んだ本の冊数を（ ）に記入してください。

回答	【ア】 紙の本	()冊
	【イ】 紙の雑誌	()冊 (マンガの週刊誌・月刊誌なども入ります。)
	【ウ】 紙のマンガ	()冊 (雑誌は入りません)

スマホやタブレット、パソコンで読む本『電子書籍』（本・雑誌・マンガすべて）について質問します。

【問3】 あなたは、『電子書籍』を利用することがありますか。
あてはまる回答を1つ選び、その数字を○で囲んでください。

回答	1 よく利用する
	2 ときどき利用する
	3 あまり利用しない
	4 利用したことがない

【問4】 あなたは11月の1か月間に、『電子書籍』を何冊読みましたか。
ア、イ、ウのそれぞれについて読んだ本の冊数を（ ）に記入してください。

回答	【ア】 『電子書籍』の本	()冊
	【イ】 『電子書籍』の雑誌	()冊 (マンガの週刊誌・月刊誌なども入ります。)
	【ウ】 『電子書籍』のマンガ	()冊 (雑誌は入りません)

『紙の本』・『電子書籍』の両方の本（雑誌やマンガは入りません）について質問します。

- 【問5】 11月の1か月の間に、1冊以上読んだ人にたずねます。
あなたが11月の1か月の間に読んだ本の中に、『読んでみたい』と
感じて自分で選んだ本は、1冊以上入っていましたか。
あてはまる回答を1つ選び、その数字を○で囲んでください。（人からすすめられた本でも、『読んでみたい』と感じていれば自分で選んだ本になります。）

- 回答
- 1 自分で選んだ本が1冊以上入っていた
 - 2 入っていない
 - 3 0冊のため無回答

- 【問6】 あなたは『紙の本』と『電子書籍』のどちらを読みたいと思いますか。
あてはまる回答を1つ選び、その数字を○で囲んでください。

- 回答
- 1 紙の本
 - 2 電子書籍
 - 3 どちらも読みたい
 - 4 どちらも読みたくない

- 【問7】 これから市立図書館や学校図書館で、どんな本を読みたいと思いますか。最もあてはまる回答を1つだけ選び、その数字を○で囲んでください。

- 回答
- 01 物語、小説、詩、エッセイなど（絵本もここに入ります）
 - 02 言葉（日本語や外国語・方言）の本
 - 03 スポーツの本や 音楽・図工・美術・写真など芸術の本
 - 04 いろいろな仕事（農業・漁業・商業）の本
 - 05 技術（もの作り・料理・手芸）や機械・乗り物の本や図鑑など
 - 06 自然科学（算数・宇宙・動物・虫・植物）の本や図鑑など
 - 07 社会のしくみ（政治や経済・国際理解）や民族文化（行事・民話）の本
 - 08 日本や外国の歴史・地理の本
 - 09 ところや人生について考える本
 - 10 調べるための本（百科事典・図鑑・横須賀など地域の資料）

【問 8】 みんなが今よりもっと本を読むための工夫として、一番効果があると思うのは、つぎのうちのどれですか。1つだけ選び、あてはまる回答の数字を○で囲んでください。

- 回答
- 1 学校で定期的に読書をする時間をつくる
 - 2 学校図書館を昼休みや放課後にいつも開ける
 - 3 学校図書館に読みたいと思う本を増やす
 - 4 市立図書館・コミュニティセンターの図書室に、読みたいと思う本を増やす
 - 5 学校の1人1台端末で市立図書館の本を予約できる
 - 6 大人や友達が『おすすめの本』を教えてくれる
 - 7 放課後や休日に自由時間が増える
 - 8 学校の1人1台端末で『電子書籍』が利用できる
 - 9 市立図書館で『電子書籍』を借りることができる
 - 10 その他 ()

【問 9】 横須賀市や横須賀市立図書館の情報を見たことがありますか。あてはまる回答の数字をすべて○で囲んでください。

- 回答
- 1 広報よこすか
 - 2 横須賀市ホームページ
 - 3 横須賀市LINE
 - 4 横須賀市X
 - 5 横須賀市立図書館ホームページ
 - 6 横須賀市立図書館X
 - 7 見たことがない
 - 8 その他: ()

【問 10】 市立図書館を利用することはありますか。あてはまる回答を1つ選び、その数字を○で囲んでください。

- 回答
- 1 よく利用する
 - 2 たまに利用する（数か月に1回程度）
 - 3 ほとんど利用しない（年に1回行くかどうか）
 - 4 行ったことがない

【問 11】 【問 10】で「3 ほとんど利用しない」「4 行ったことがない」と回答した人に質問します。
市立図書館を利用しない理由は何故ですか。
あてはまる回答の数字をすべて○で囲んでください。

回答 1 利用したいが、他にもやりたいことや用事があるから
2 学校図書館や、電子書籍で用が足りるから
3 本は買う、借りるなど、読む本が手元にあるから
4 本に興味がないから
5 その他: ()

【問 12】 あなたは小さい頃、絵本などを読んでもらったことがありましたか。
あてはまる回答を1つ選び、その数字を○で囲んでください。

回答 1 よく読んでもらった
2 ときどき読んでもらった
3 あまり読んでもらわなかった
4 読んでもらったことはない
5 覚えていない

【問 13】 **これが、最後の質問です。**
あなたは本を読むことが好きですか。
あてはまる回答を1つ選び、その数字を○で囲んでください。

回答 1 好き
2 どちらかといえば好き
3 どちらかといえばきらい
4 きらい

質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

令和6年度 小・中学校用 読書活動推進の取組状況調査票

1校につき1回のみのお返答をお願いします。

設問の該当する項目にチェックをしてください。

『その他』の場合は具体的に入力してください。

【問1】学校名を選択してください。

【問2】今年度、実施した又は実施予定の読書の推進に関する活動を教えてください。（複数回答可）

- 朝読書
- 読み聞かせ(おはなし会)
- 図書委員会の児童生徒による取り組み(本の紹介や読書キャンペーンなど)
- 読書週間等での読書イベント
- 読書感想画の取り組み
- 読書感想文の取り組み
- その他()

【問3】今年度は読書活動に図書ボランティア(名称に係わらず、教職員や学校司書以外のすべての方を対象とします。)を活用していますか。(予定も含まれます。)

- 活用している
- 活用していない

【問4】【問3】で『活用している』と回答した学校にお尋ねします。

図書ボランティアが実施する具体的な取り組みとして、あてはまる項目を全てチェックしてください。

- 読み聞かせ(おはなし会)
- 学校図書館の蔵書の受け入れ・廃棄など
- 学校図書館の環境整備(掃除・飾り付けなど)
- 学校図書館の図書の貸出・返却
- その他()

【問5】【問3】で『活用していない』と回答した学校にお尋ねします。

活用していない理由として、あてはまる項目を全てチェックしてください。

- 活用したいが、人の確保が難しいため
- 活用したいが、どのような活動を行ってもらえばよいかわからないため
- 必要性を感じないため
- その他 ()

【問6】市立図書館から配布されるブックリストをどのように利用していますか。

- 配布のみ
- ブックリストを活用した読書を勧めている
- 学校図書館の選書に活用している
- その他 ()

【問7】学校特別貸出を利用していますか。

- 利用している
- 利用していない

【問8】【問7】で『利用していない』と回答した学校にお尋ねします。

学校特別貸出を利用しない理由は何ですか。該当するものすべてにチェックしてください。

- 手続きが繁雑、または分からない
- 学校の図書館・図書室にある本で用が足りるから
- 授業に必要ではないから
- その他 ()

【問9】今年度、学校図書館が開館している時間はいつですか。

(児童・生徒が本を閲覧することができる時間)

【問9-①】1週間のうち、

- 特別な事(学校行事など)がなければ、毎日開館している
- 週に数回開館している

【問 13】【問 12】で「利用した」と回答した学校にお尋ねします。

該当するものすべてにチェックしてください。

- 朝読書で利用した
- 調べ学習で利用した
- 各教科で利用した
- その他（ ）

【問 14】【問 12】で「利用しなかった」と回答した学校にお尋ねします。

該当するものすべてにチェックしてください。

- 紙の本を利用するので、電子図書館は利用しない
- 利用する時間がない
- 電子図書館の使い方がよく分からない
- 利用したい電子書籍が少ない
- その他（ ）

【問 15】『よこすか電子図書館』に希望することはありますか。

該当するものすべてにチェックしてください。

- 電子図書館の使い方講習の実施
- 児童書読み放題パックの充実
- 単品（児童書）の電子書籍の充実
- 購入して欲しい電子書籍のリクエストの実施
- その他（ ）

【学校用】2024 高校における読書活動の取り組みの調査

全日制・定時制、それぞれ1人のみ回答してください。

【問1】 あてはまる回答を1つ選び、その数字を○で囲んでください。

回答 全日制
定時制

【問2】 今年度、実施した、または実施予定の読書の推進に関する活動を教えてください。

あてはまる回答の数字をすべて○で囲んでください。

回答 1 朝読書
2 読み聞かせ（おはなし会）
3 図書委員会の生徒による取り組み（本の紹介や読書キャンペーンなど）
4 読書週間等での読書イベント
5 読書感想画の取り組み
6 読書感想文の取り組み
7 その他: ()

【問3】 今年度は読書活動に図書ボランティア（名称に係わらず、教職員や学校司書以外のすべての方を対象とします。）を活用していますか。（予定も含めます。）

あてはまる回答を1つ選び、その数字を○で囲んでください。

回答 1 活用している
2 活用していない

【問4】 【問3】で『活用している』と回答した方にお尋ねします。

図書ボランティアが実施する具体的な取り組みとして、あてはまる回答の数字をすべて○で囲んでください。

回答 1 読み聞かせ（おはなし会）
2 学校図書館の蔵書の受け入れ・廃棄など
3 学校図書館の環境整備（掃除・飾り付けなど）
4 学校図書館の図書の貸出・返却
5 その他: ()

【問5】 【問3】で『活用していない』と回答した方にお尋ねします。
活用していない理由として、あてはまる回答の数字をすべて○で
囲んでください。

- 回答
- 1 活用したいが、人の確保が難しいため
 - 2 活用したいが、どのような活動を行ってもらえばよいかわ
からない
 - 3 必要性を感じないため
 - 4 その他: ()

【問6】 今年度、学校図書館が開館している時間はいつですか。（生徒が
本を閲覧することができる時間）

- 回答
- 【ア】 1 週間の内、
- 1 特別な事（学校行事など）がなければ、毎日開館している
 - 2 週に数回開館している

- 【イ】 1日の内、
- 1 常時開けている
 - 2 一定時間開けている（昼休み・中休み・放課後）
 - 3 一定時間開けている（昼休み・中休み）
 - 4 一定時間開けている（昼休み・放課後）
 - 5 一定時間開けている（昼休みのみ）
 - 6 一定時間開けている（中休みのみ）
 - 7 一定時間開けている（放課後のみ）
 - 8 その他: ()

【ウ】 【イ】で「1 常時開けている」以外の回答をした方にお
尋ねします。理由を簡潔にご記入ください。

【問 7】 学校図書館の図書貸出は、誰が対応していますか。
あてはまる回答の数字をすべて○で囲んでください。

回答 1 教職員
2 学校司書
3 児童・生徒（図書委員など）
4 図書ボランティア

【問 8】 学校図書館の利用指導（オリエンテーション）は、1年に1回以上行っていますか。回答を1つだけ選び、その数字を○で囲んでください。

回答 1 全学年で行っている
2 一部の学年で行っている

【問 9】 『よこすか電子図書館』を利用しましたか。
回答を1つだけ選び、その数字を○で囲んでください。

回答 1 利用した
2 利用しなかった

【問 10】 **これが、最後の質問です。**
電子書籍を活用した読書・調べ学習をすることはありますか。
回答を1つだけ選び、その数字を○で囲んでください。

回答 1 青空文庫など無料の電子書籍サービスを活用している
2 活用したいが適当なコンテンツがないため活用できていない
3 活用したいが読書や調べ学習を行う時間的余裕がないため活用できていない
4 紙の本を活用するため、電子書籍を活用していない
5 その他: ()

質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

【保護者用】2024 小学校における読書活動の取り組みの調査

【問1】 お子さんの在籍している学校名をご記入ください。

回答

小学校

【問2】 この1年間に、家庭でお子さんに対して、本や絵本の読み聞かせをしましたか。

あてはまる回答を1つ選び、その数字を○で囲んでください。

- 回答
- 1 よく読み聞かせをした
 - 2 たまに読み聞かせをした
 - 3 読み聞かせをしなかった
 - 4 わからない

【問3】 お子さんに読書習慣をつけるために、なにか行っていますか。

あてはまる回答の数字をすべて○で囲んでください。

- 回答
- 1 図書館・図書室と一緒にいく
 - 2 一緒に書店に行き、本を買い与える
 - 3 図書館などのおはなし会に参加する
 - 4 子どもが本を読んだらほめる
 - 5 自分（保護者）が読書している姿を見せる
 - 6 本のことについて話をする
 - 7 子どもが手に取りそうな本を家に置いている
 - 8 その他: ()

【問4】 **これが、最後の質問です。**

市立図書館の取り組みについて、知っているものすべて○で囲んでください。

- 回答
- 1 ブックスタート事業
 - 2 ブックリスト配布
 - 3 おはなし会
 - 4 えいが会
 - 5 よこすか電子図書館

質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。